

# 向島労働基準監督署 第13次労働災害防止計画



～ Safe Work TOKYO ～ トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心

第13次労働災害防止計画（3年度）推進中

向島労働基準監督署管内における死傷災害の発生状況をみると、第三次産業での発生が半数以上あり、そのうち、約3割が小売業・社会福祉施設、飲食店での災害となっています。

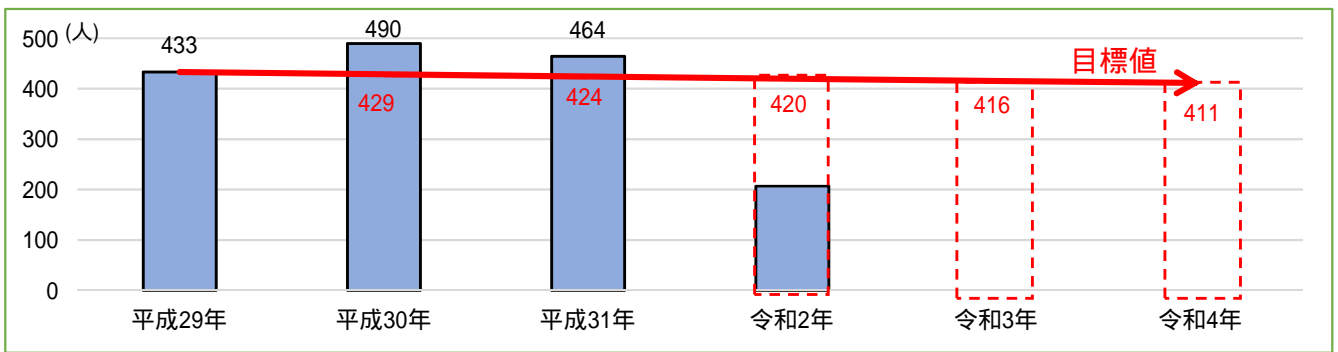
向島労働基準監督署では、東京労働局が策定した「第13次東京労働局労働災害防止計画～Safe Work TOKYO～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心」の計画に基づき、2018年を初年度として5年間にわたり各種労働災害防止のための取組を行うにあたり、管内での労働災害発生状況を鑑みて達成すべき目標を定め、労働災害のさらなる減少を図ります。

\* 死傷災害...死亡災害及び休業4日以上の業務上の労働災害

## 基本目標

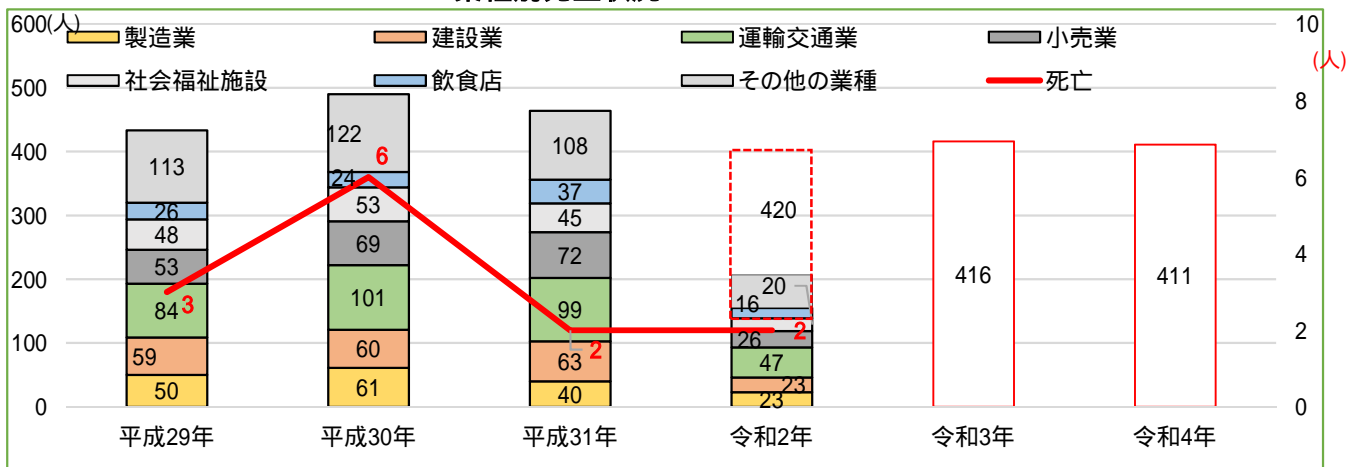
- 死亡災害 1件以内
- 死傷災害 2022年までに411件以下に減少させる。

平成29年の死傷災害433件から5%以上減少とし、最終年である2022年においては411件以下に減少させる。

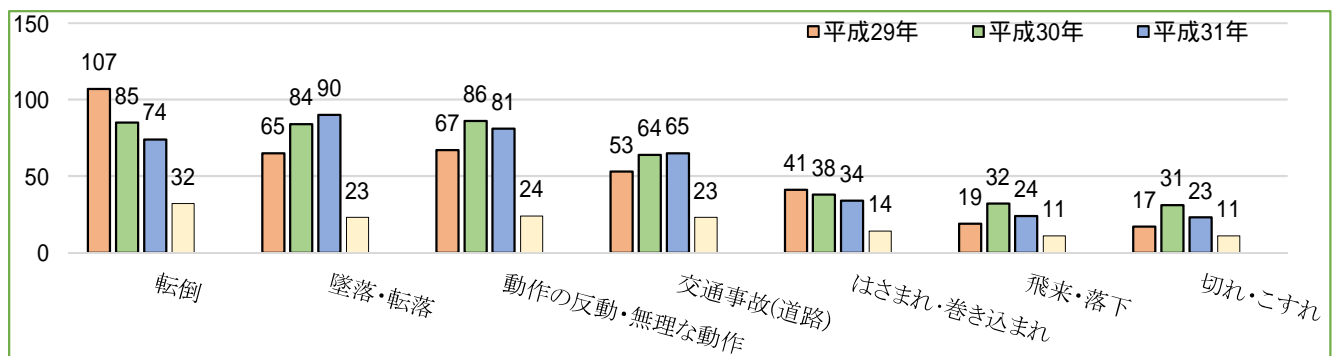


## 労働災害発生状況

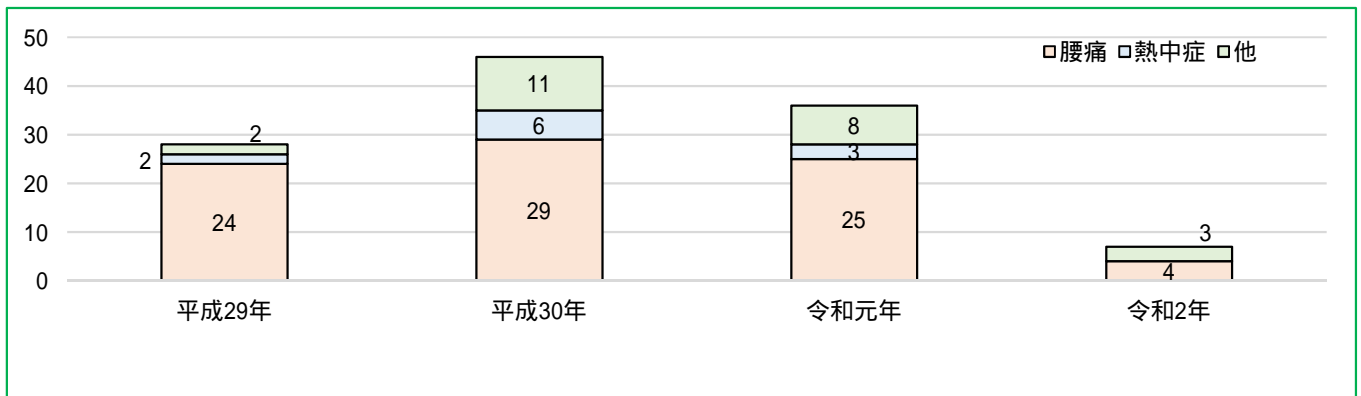
### 業種別発生状況



### 事故の型別発生状況

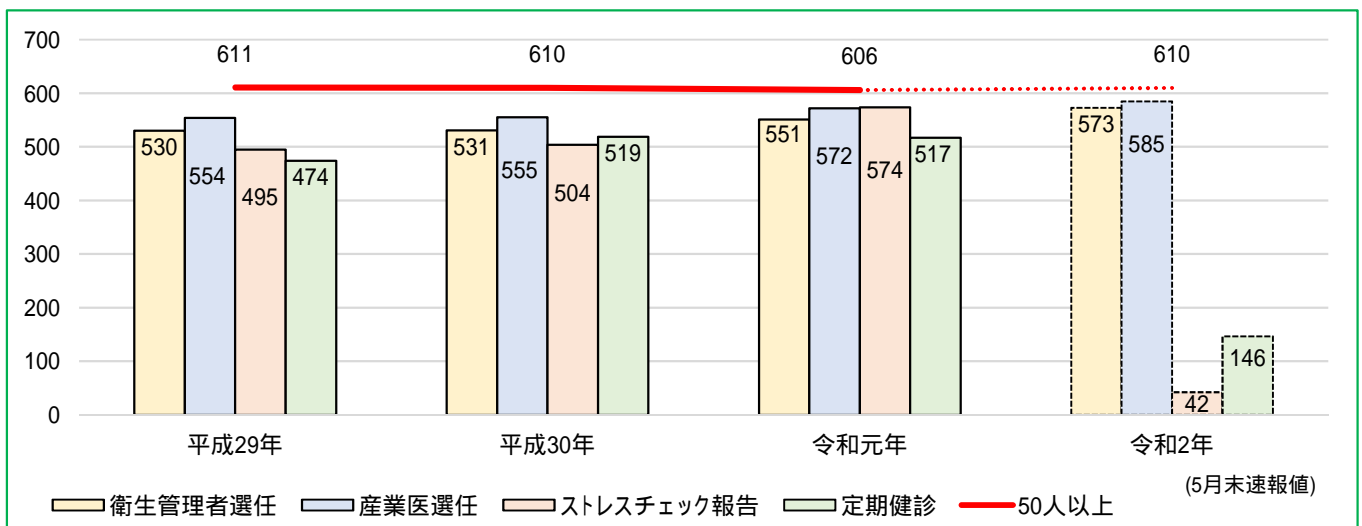


## 職業性疾病発生状況



## ストレスチェック制度及び安全衛生管理体制

### 衛生管理者、産業医、ストレスチェック報告



### 定期健康診断所見率

